

低侵襲性心臓手術(MICS)の有効性に関する観察研究

実施責任者:岡田和也

【背景・目的】

低侵襲性心臓手術、通称 MICS(Minimally Invasive Cardiac Surgery)は 1990 年代半ばより国内外で広まりつつある心臓手術の術式である。片側胸部切開を行うことで従来の胸骨正中切開と比較し患者への身体的負担が軽減され、術後回復が早く予後を改善することが海外で報告されている。国内でも徐々に浸透しつつある手術ではあるものの、高度な技術を要するためまだ一般的な治療とは言えない。当院では、現術者の着任に伴い 2017 年 10 月から MICS が導入されるようになった。今回、冠動脈疾患や心臓弁膜症に対する従来の胸骨切開による開心術と比較した MICS の有用性や安全性について検討することが目的である。

【研究方法】

当院で 2016 年 10 月以降に現術者が施行した開心術(冠動脈バイパス術、弁膜疾患術)を対象に、以下に挙げる情報を電子カルテから収集して従来の胸骨切開開心術と MICS の統計学的な比較検討を行う。

【評価項目】

年齢、性別、BMI、心臓手術名、術前リスクスコア(Euroscore II)、術前 NYHAIII or IV、既往歴(高血圧、DM、COPD、以前の開心術)、術前心機能(EF%)、手術時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間、人工心肺施行中の最低温度、術前ヘモグロビン値、出血・輸血量、入室時 APACHEII score、気管挿管期間、再挿管、ドレーン排液量・挿入期間、術後オピオイド使用期間、術後合併症;せん妄、脳卒中、再挿管、心房細動、感染(SSI、縦隔炎、BSI、VAP)、急性腎障害、透析、入院期間、ICU 在室期間、28 日死亡率、90 日死亡率、入院医療費

【実施期間】

承認日～2024 年 3 月 31 日 (電子カルテレビューは 2016 年 10 月から)

【個人情報の保護・インフォームドコンセント】

本研究目的で収集される情報には個人を特定できるような内容は含まれない。本研究は、電子カルテを用いた観察研究であり、患者への直接的な危険はない。実施に当たっては、オプトアウトの形式をとるものとする。

問い合わせ先:研究担当者 氏名:岡田和也(集中治療部)

住所:〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話: 046-823-2630 FAX:046-827-1305

受付時間: 月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)